

キャラクター名  
峯田 凌駕(みねだ りょうが)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	天才エージェント
	ノイマン					
オプション			年齢	14	性別	男
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	31	%
出自	政治権力(父)	経験	海外生活(海外の友人)	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	0	1			1	行動値	8
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	8
精神	6	0	0			6	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転 : 車に運転したくない			芸術 : 機軸が定まらない			知識 : 様々な知識を吸収する			情報 : UGN	1	
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲 : 0    合計回避 : 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
峯田優	P 尊敬	N 不信任		
エミリースチュワート	P 友情	N 隔意		
謎のホームレス	P 尊敬	N 劣等感		
安良居 聾児	P 友情	N 隔意		
皆野 友人	P 友情	N 隔意		
栗山 柊弥	P 友情	N 隔意		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果 : 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果 : コスト分のHPで復活								
インスピレーション	1	2	メジャー	至近	自身	自動		
効果 :								
アドバイス	4	4	メジャー	視界	単体	自動		
効果 : 次に対象が行うメジャーのC値-1(下限6)&判定のダイス+LV個								
勝利の女神	5	4	オートアクション	視界	単体	自動	100↑	
効果 : 対象が判定を行った直後に使用。判定の達成値を+[LV×3]する。ラウンド1回まで。								
常勝の天才	5	6	セットアッププロセス	視界	シーン(選択)	自動	ピュア	
効果 : 対象はラウンド中の攻撃力が+[LV×4]。自分対象不可。シーン1回まで。								
ドクタードリトル	1							
効果 :								
プロファイリング	1							
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								

峯田凌駕。天才中学生。  
父は国の重要機関に所属するエリートで母も才女であり、そんなエリート夫婦の元に生まれた。  
父は国の重要機関に所属するエリートで母も才女であり、そんなエリート夫婦の元に生まれた。  
今時珍しく門限や禁則事項の多い中で、それを当たり前で育ったからか物心がつく頃には読み書きができた。  
しかし、自我の芽生えから他所の家庭との違いが分かってくと二人の愛と言う名の束縛を息苦しく感じるようになった。  
またそんなころには周りの学習レベルの違いから小学校に行く必要もあるまいと海外のスクールへ語学留学をさせられたためあまり友人がいない意志を捻じ曲げられること、理不尽を強いることが嫌い。そうする大人が嫌い。  
PC1、2、4とは中学生になってから仲良くなった。  
成績優秀で、学力は学年トップ。今まで才能ゆえに敬遠されてきたので、仲良くしてくれる3人には感謝している。  
こんな日々がずっと続けば良いなあと思っている。  
中二特性:大人への反抗心  
後日談を経て。PC1に会い、UGNへと所属。漠然とした将来を見ていた子供であることを辞めた。  
大切な友人たち、みんなを繋いでくれた「†Phantomplanet†」を嗤った両親への決別を決め、UGNが運営する”親が好きそうな進学校”を見繕ってもらい、そこへ進学しようかと考えている。  
戦いを経て、自分の適性から研究職や支援者としての道を歩もうと思っている。“——辻褄合わせは得意だから”